

問題意識

- 自動車技術の進化、CS対策の強化等により「ディーラーでなければ直せない故障」が増加傾向
- 他方で、リコール作業の増加、働き方改革の推進等により、ディーラーの処理能力は限界に近く、
専業工場からの依頼に速やかに応えられない
- 専業工場の対応力を増強するためには、純正スキャンツールの流通促進とともに、複数メーカーの
車種に対応可能な「汎用スキャンツール」の機能を向上させる必要がある

対応

- 自動車整備技術の高度化検討会の「標準仕様WG」において、標準仕様の汎用スキャンツールの
開発に必要な情報提供ルールのあり方の見直し等を検討する
- この際、自動車メーカーによるサイバーセキュリティ対策(CSMS)と統合的な制度とする
- これらにより、自動車メーカー等が提供する技術情報に基づき正規開発される「標準仕様の汎用
スキャンツール」の開発・普及を促進する

今後の予定

- 標準仕様WGで議論を重ね、令和6年度中に、自動車整備技術の高度化検討会で合意を得る
以降、法令改正・システム整備を進める